

四国中央市長 篠原 実 様

小・中学校のトイレの洋式化等改善を求める要望書

新型コロナウイルスが蔓延する環境下では、様々な施設で感染症対策の徹底が求められております。文部科学省からも、ポストコロナの「新たな日常」の実現に向けて感染症対策を講じながら、児童生徒の健やかな学びを保障していくことが重要であるとの見解が示されています。

以前より「子供たちが慣れない和式で用を足せずに困っている」という声もあり、小・中学校のトイレの洋式化を順次進めてこられたところと承知しておりますが、近年は衛生面や新型コロナウイルスを含む感染症対策の面からも強く求められている状況となっております。

昨年9月に文部科学省が発表した全国の公立小・中学校にある洋式トイレの割合は57%、愛媛県では44.6%となっておりますが、市内では38.7%となっており、早急な対応が必要となっております。

小・中学校のトイレの洋式化、手洗い設備の非接触化等を早急に進め、児童生徒の衛生環境の確保に努められるよう、強く要望します。

令和3年4月8日

四国中央市議会	議 長	吉田善三郎
	副 議 長	眞鍋 幹雄
	議 員	曾我部 清
	〃	谷 國光
	〃	原田 泰樹
	〃	井川 剛
	〃	山本 照男
	〃	篠永 誠司

四国中央市議会	議 員	川上 賢孝
	〃	谷内 開
	〃	三宅 繁博
	〃	山川 和孝
	〃	三好 平
	〃	石川 剛
	〃	吉原 敦
	〃	飛鷹 裕輔
	〃	眞鍋 利憲
	〃	三浦 克彦
	〃	猪川 護
	〃	杉浦 良子
	〃	茨木 淳志
	〃	横内 博之